

いつまでも人々を魅了し続ける皇后の書いた詩からみる制作

概要

ハプスブルク家最後の皇妃エリザベートを知ってもらうため、エリザベートの書いた詩からエリザベートがどのような人生を送っていたのかをホームページにした。

詩と解説を合わせたホームページを見てもらいその感想をアンケートで調査した。

1、背景

今人気 No.1 チケットの取れないミュージカル「エリザベート」を初めて観劇したときに主人公オーストリア皇妃エリザベートの”私の人生は私のもの”をというメッセージが強く心に残り影響を受けたため、題材として選んだ。

エリザベートが幼いころから最後まで熱中していた”詩を書くこと”に着目し実際に生きていた時代の彼女を知って欲しいと考え制作した。

2、目的

本ホームページの目的は「恵まれた環境にいる中で勝手だ」と感じる人と「環境が悪いと感じる人」とエリザベートを支持する人とそれぞれどう見えるのかこの制作から知り、生き方の種類が増えた現代だから注目されるのか。なぜ“今”彼女が多くの人に支持されているのか理解して貰うことが目的である。

3、手法

エリザベートに関する本に書かれている詩から日本語に翻訳されたものを集め、それが書かれた場所・いつ・年齢と説明を入れ説明を見てもらうホームページを作った。詩からエリザベートが表していた感情を色分けし情景をより感じて貰えるようにした。

4、制作の過程

1、制作テーマの決定

自身の体験からエリザベートの生き方を詩から伝える web 制作に決定。

2、内容の決定

出版物から詩を抽出し本人年表から書かれた場所何があった時なのかを細かく調べ解説を作った。

3、掲載場所、色分けの決定

Wix の中でトップページ（図1）の他にエリザベート自分自身について、他の人に対しての想いを書いたものか分け、色（図4）では青＝悲しい・苦しい、黄色＝幸せ、緑＝昔を思い出す、赤＝好き・嬉しいに分け情報が整理しやすいように努めた。

4、年表（図2）

エリザベートがどこで活動していたのかだけでなく周りの人の出来事も細かく入れた

5、GitMind で家系図作り（図3）

この制作に関係する周りの人物を選び作った。ハプスブルク家は有名な人が多く近い家系に見えて複雑だった。

6、フリー素材の写真探し

マリーアントワネットとは違い豪華だけどどれほどのものか想像できない人が多いと感じエリザベートの素朴さとハプスブルク家の重みが伝わるようなフリー素材の写真を探した。

7、文章のサイズにこだわり統一感を重要視した。

8、ホームページに対するアンケート作り

10個の項目に分け選択形式で8人から回答を得た。

5、制作物

<https://m2052032.wixsite.com/my-site>

①ホーム

皇妃エリザベートの詩

ホーム 自分の事 相手への想い 手紙



図1 トップページ

	検索...
1837年12月24日	ミュンヘンに生まれる。
1848年	詩を書き始める。
1853年8月16日	バート・イシュルでフランツ・ヨーゼフと大公ヘレーネの見合いが行われたが、妹のエリザベートに心が傾く。
1853年8月19日	ゾフィー大公妃の意向とは裏腹に婚約成立。
1853年 秋	花嫁修業の一環としてヨハン・マイラー伯爵からハンガリー史を受講。ハンガリーに興味を持つようになる。
1853年10月	フランツ・ヨーゼフとポッセンホーフエンを訪問。ミュンヘン宮廷の祝宴に出席する。
1854年4月24日	ウィーンのアウグスティーナ教会で結婚式。
1854年5月	ウィーンの近郊のラクセンブルク城館で新婚生活が始まる。ゾフィー大公妃や女官長に宮廷のしきたりを押し付けられ反発する。
1855年3月5日	長女ゾフィーを出産。
1855年3月21日	結婚後初めてポッセンホーフエンに里帰り。
1856年7月15日	次女ギーゼラを出産。
1856年11月	皇帝夫婦、ヴェネツィア・ミラノでも冷遇されるがエリザベートの美貌は好奇の目を集める。
1857年5月	皇帝夫婦、2人の娘を連れて第1回ハンガリー訪問。エリザベートは美貌と愛情により絶大な人気を得るが5月29日長女ゾフィーが病死し傷心の帰国となる。
1858年8月21日	長男ルードルフを出産。長女・次女と同様、ゾフィー大公妃の監督下で養育される。
1860年10月	ゾフィー大公妃との確執に疲れはて、はげしい咳にも悩まされる。
1860年11月17日	大西洋のマデイラ島へ転地療養に発つ。～61年4月まで
1863年2月	3年ぶり宮廷舞踏会に姿を見せる。このころからハンガリー語の習得に励む。
1864年3月10日	バイエルン王国でルートヴィヒ2世が即位。

図 2 年表

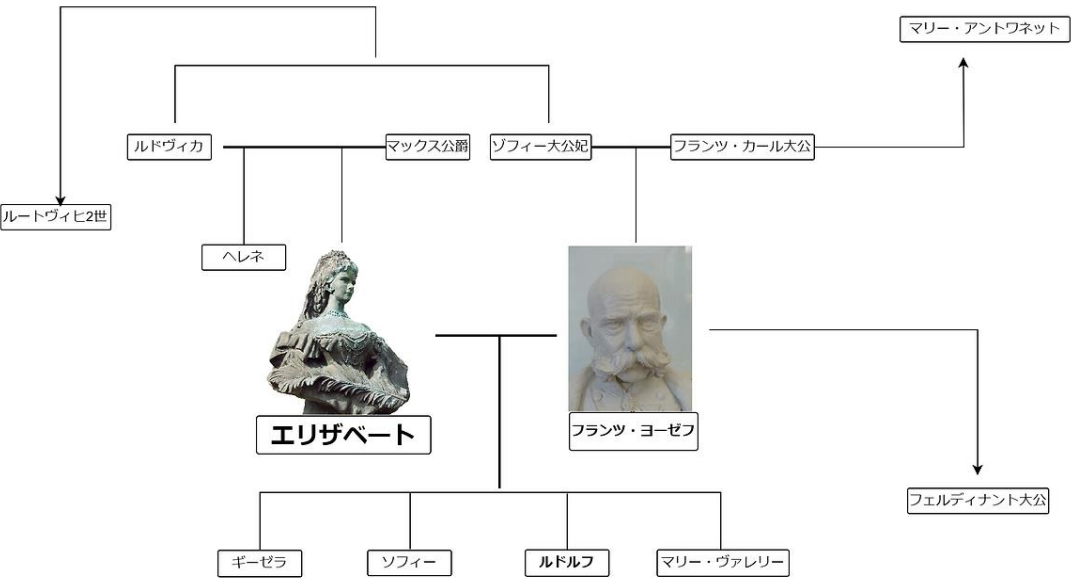


図 3 家系図

おお、もしも私があの小道を見捨てていなければ、
私は、自由へと導かれていただろう、、、
おお、もしも私が広々とした通りに居れば、かくも虚しい迷い子にはならなかっただろ
う、、、

私は1つの牢獄の中に目を覚まし
両手は鎖に繋がれている
常にはてしない憧れを胸に一
なのに自由よ！ああ、お前は私に背き続ける！

私は甘き夢から揺り起こされ
私の精神は監禁された
そして、実り無きこの"交換"を呪う
それによって自由よ！ー私はお前を騙しとられたのだ

場所：ウィーン

いつ：嫁いでまもないころ

年齢：17歳

ウィーンに嫁いで間もなく、強い孤独を感じたエリザベートはホームシックになった。
そんな心情を詠ったのがこの「憧憬」

また若々しい春が巡って来た
そして木々を鮮やかな緑で装い
そして小鳥に新しい歌を教え
そして花をいっそう美しくほころばせる

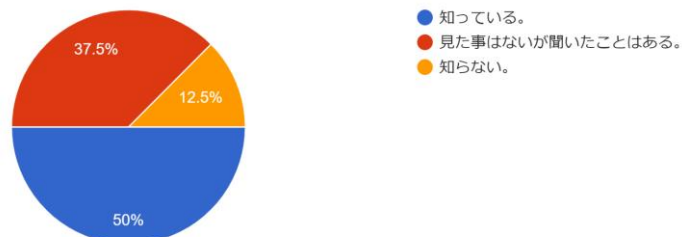
けれどわたしに春の喜びが何だろう
こんな遠い異国の地にあるというのに
わたしは故郷の太陽を
イザール川の岸边を恋い慕う

図4「自分のこと」色分けページ

6、アンケート結果

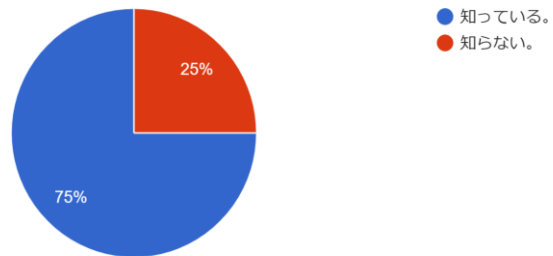
1、ミュージカル「エリザベート」を知っていますか？

8件の回答



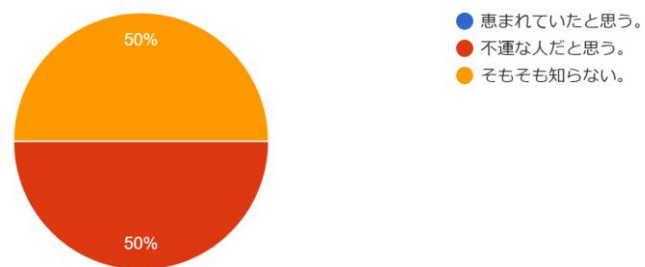
2、オーストリア皇妃エリザベートを知っていますか？

8 件の回答



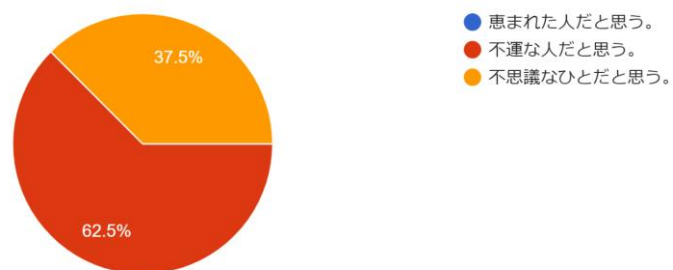
3、エリザベートがどんな人生だったか知っていますか。

8 件の回答



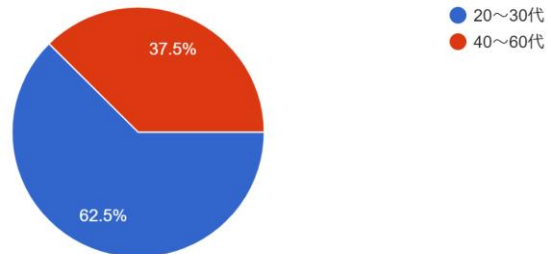
4、ホームページの内容を見てどんな印象を受けましたか。

8 件の回答



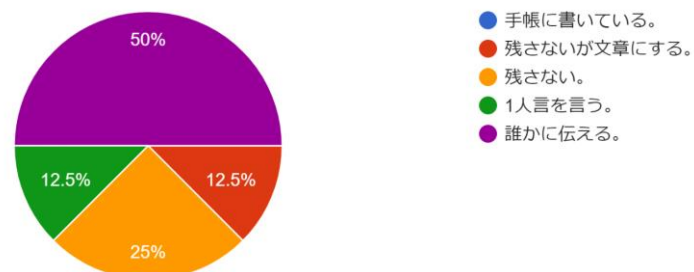
5、年齢を教えてください。

8件の回答



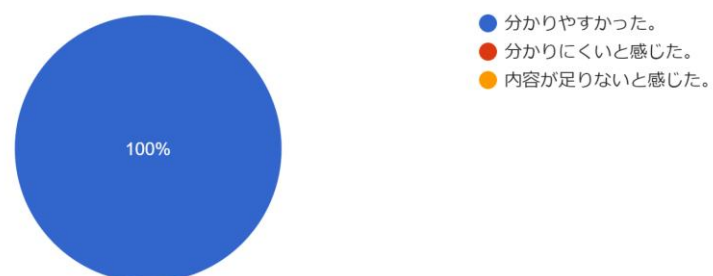
6、心が嬉しいとき、不安な時はその思いをどうやって残しますか。

8件の回答



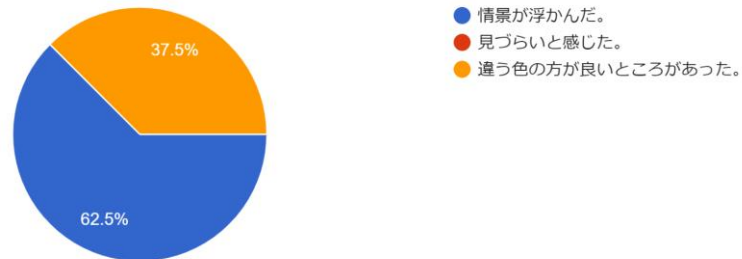
7、このホームページの内容の説明と詩の流れはどうでしたか？

8件の回答



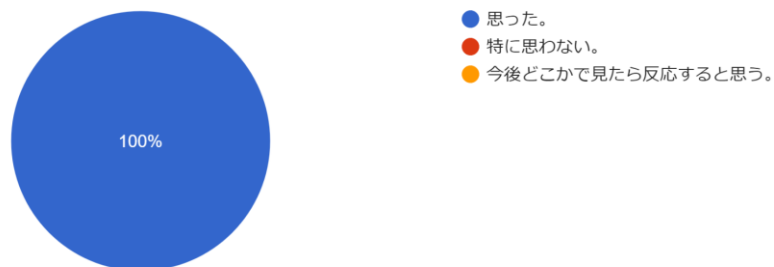
8、このホームページの詩の色分けについて

8 件の回答



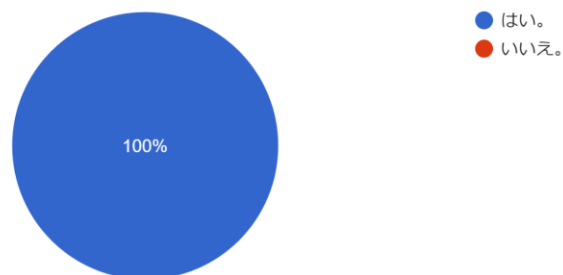
このホームページを見てエリザベートについて知りたいと思いましたか？

8 件の回答



ミュージカル「エリザベート」にも興味が湧きましたか？

8 件の回答



10 のアンケートの結果、年齢・年代問わず心が動いたときにする行動として「文章にする人」は 1 人しかおらず、「誰かに伝える」を選択した人が 1 番多かった。

ホームページの流れは分かりやすかったが多かったが詩の色分けについて違う色の方が良いところあった。の結果もあり、携帯とパソコン上での画面の変化の違いについて実感した。

ホームページを見た後エリザベートについて興味を持つ人が 100% であり目標を達することが出来た。

7、まとめと今後の課題

ホームページの内容からどんな印象を受けたか、エリザベートについて興味が湧いたか。この2つの質問の回答結果によってエリザベートを知っている人知らない人どちらもの目線からどういう風に見えるのか、ホームページを通してエリザベートへの関心を高める目的を達成した。

しかし、スマートフォンでホームページを見たひとが多く、詩につけた色の濃さによって見えにくいと感じる様な場面もあったためパソコン上だけでなく携帯での見え方も重要視するべきであったと考える。

引用、参考文献

- ・「皇妃エリザベートの生涯」 マルタ・シャート 西川賢一/訳 集英社 2000 年
- ・皇妃エリザベート永遠の美 南川三治郎 世界文化社 2006 年
- ・美しき皇妃エリザベート 須貝典子 河出書房新社 2023 年
- ・エリザベート栄光と悲劇 M.シェーファー著/大津留 厚 監訳・永島とも子 訳 刀水書房 2000 年
- ・使用フリー素材 Pixabay
- ・写真提供 永井写真館 永井秀和

- ・使用ソフト

Wix、Pixabay、GitMind

- ・制作

<https://m2052032.wixsite.com/my-site>